



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム

RI.D2590ガバナー／高良 明

横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年3月1日 第2280回例会 VOL. 48 No. 31

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	21名
本日の出席率	84%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

北澤、佐藤（真）鈴木、二宮（麻）

■他クラブ出席者

斉藤（横浜瀬谷RC）

■3月誕生記念祝



佐藤 利明会員 3.23

市川 慎二会員 3.9

田川 富男会員 3.30

■会長報告

RIは2014年10月理事会において、重点分野である「水と衛生月間」である3月を、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善等の資金調達、維持管理についての仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした、とありました。

第2590地区において、財団への寄付ゼロクラブが5クラブあるそうです。

米山記念奨学金は2クラブがゼロとのこと（1月末現在）

米山記念奨学金、財団への寄付はロータリアンの義務と思います。

○地区関係

1) 第55回ロータリアン展参加者募集の案内
ロータリアン、その家族、友人も参加できます。出品内容は、絵画、写真、書画、彫刻、焼き物など、日ごろの趣味の発表の場としてご利用いただけます。

出品料2万円、小品は1万円。場所はギャラリーパリ（旧横浜三井物産ビル1F）

出品予定者は3月20日までに五十嵐会員までご連絡下さい。

詳しい内容は6頁参照

2) 2017-18年度奨学金・VTT委員として新川

会員の委嘱状が来ています。

○クラブ関係

1) 大相撲5月場所観戦のご案内

団体枠が太田さんのおかげで取れました。

日時 5月24日(水)(11日目)

例会終了後希望者で観戦に行きたいと思
います。5マス20人です。岩沼・瀬谷RCにも
声を掛けたいと思います。

■災害対策委員会報告 増田嘉一郎

大規模災害発生時における会員の安否確認方
法についての第2回トライアル実施(3/14)
について

昨年8/31に第1回大規模災害時における会
員の安否確認についてのトライアルを実施し、
過半数の会員に参加して頂きました。第1回
の反省点も踏まえて実施方法を一部変更し、
さらに前回より多くの会員に参加していただ
き、皆様に安否確認方法に慣れて頂く為に下
記の要領にて第2回トライアルを実施させて
いただきます。

3月14日(火)午後1時に旭区を震源とする震
度6強の地震が発生し、関東各地に甚大な被
害が発生したとの想定です。

1) トライアル実施日時

平成29年3月14日(火)午後1時から15日(水)午
前9時まで

* 前回移動中で連絡が難しかった方もおられ
る思い、実施時間を翌朝9時までとしました。

2) 実施方法

①当クラブへメールでご連絡ください。

このトライアルは会員から連絡する方法で行
います。クラブからの問い合わせはおこない
ません。

・メールアドレス

asahirc@titan.ocn.ne.jp

予め登録しておいて下さい。

スマートフォン、携帯電話、PC等、今回に
限らず、将来をも含めてお手持ちの連絡手
段となる可能性があるもの全てに登録して
おいていただければと思います。

・3月14日(火)午後1時になりましたら、クラ

ブへ御連絡ください。

今回は実際の災害発生時を想定して、スマー
トフォン、携帯電話からの連絡を優先でお
願います。勿論、事業所にいられる場合
はパソコンからの送信でも構いません。

・送信は、件名欄に氏名と安否確認を入力し
て送信して下さい。

件名欄の記載で安否確認が分るようにお願
いします。

・今回送信して頂いたスマートフォン、携帯
電話、パソコン等のメールアドレスは災害
対策委員会において登録し、災害対策委員
長が管理し、毎年引き継いでいくこととな
ります。

災害発生時やそのトライアル等、災害発生
時のために必要となった時のみ使用するも
のです。

また、災害時相互扶助協定を締結している
岩沼RCに対し、この登録名簿を送信するこ
とも考えております。

会員名簿に記載のないアドレスから発信さ
れる会員の中でこの登録を望まれない方は、
委員長増田宛てにご連絡ください。

・スマートフォンや携帯メールについてPCア
ドレスからのメール受信を拒否する設定を
されている方は、今回は使用しませんが、
今後の事を考えて、クラブアドレスからの
メールを例外的に受信するように設定を変
更しておいていただければと思います。

②メールが苦手な方はFAXで送信して下さい。
FAXは災害時に会員からの送信が重なると
話し中になり、何度か繰り返して頂くこと
が予想され、また、届くまでに時間を要す
ることが予想されますので、メールが可能
な方はできる限りメールでの送信をお願い
します。

・FAX 045-365-3132

これも予め登録しておいて下さい。

特に書式は設けません。同日午後1時になっ
たら、お手元にある紙に、氏名と安否状況
を記載して送信して下さい。

3) 問合せ先

今回のトライアルは増田が担当しております。おわかりにくい点、疑問点などありましたらご連絡ください。

増田電話 事務所 03-3574-1422

携帯 090-3228-8049

メールアドレス (スマートフォンに転送)

masudalo@gamma.ocn.ne.jp

■研修委員会

市川 慎二

日時 3月15日(水)11時、例会前に翌月の月間テーマについて検討したいと思います。

Cグループは五十嵐、二宮(麻)、市川となります。

■情報集会報告

○増田グループ

増田嘉一郎

日時 2月23日(木)18:30～

場所 二俣川ライフ仕立屋

参加者(敬称略)

佐藤(真)、滝澤、田川、増田

1)「横浜旭ロータリークラブ50周年を迎えるにあたり何をするか」

ビジョン・テーマ・コンセプト・スローガンは「100周年をめざして」

事業 欠席された安藤達雄会員の経済面において協力させていただきますという暖かい言葉を受けてビジョン等を具体化する。

(1) 記念式典

完成した二俣川南口再開発ビルで開催する。以後50年間旭区のシンボルとなろう。

(2) 記念誌

クラブの過去から50年後までを対象とする。

(3) 記念講演

仮題「50年後の旭区へ」

(4) ロータリー財団、米山奨学会への寄附
全世界で将来を担う世代のために

(5) 記念碑・モニュメント

- ・100周年へ、形のあるものを残す
- ・旭区役所、警察署、消防署の青少年活動に形あるもので協賛する。青少年への社会教育、青少年を犯罪、火災、急急疾病等の被害から守るために

(6) 記念イベント

- ・将来の日本を担う旭区在住小学生を対象とするイベントを開催
- ・旭区制50周年記念行事に参画する。青少年を対象とするものが望ましい。

2) 会員増強

(1) 基本は会員個人による口コミと説得となる。

(2) 50周年記念行事を早い段階から地域に情宣し、地域に横浜旭ロータリークラブの存在を認識させる。

(3) 全会員を対象に、業種別攻略チームを編成し、候補者と複数会員による面談ができる体制を整える。

・金融機関攻略チーム

銀行、信金、信組、農協の各支店長

・医業攻略チーム

医師、歯科医師、看護師、薬剤師

・宗教家攻略チーム

神主、住職

・飲食業攻略チーム

レストラン、食堂、喫茶店等

・士業攻略チーム

司法書士、土地家屋調査士、建築士等

・教官攻略チーム

個人塾経営者、講師、スポーツクラブ経営者、インストラクター等

■ニコニコBOX(会員敬称略)

青木 邦弘/増田さん、今日はよろしくお願ひします。

増田嘉一郎/災害復興フォーラムです。活発なご意見をお願い致します。

吉原 則光/早くも3月最初の例会となりました。増田さん、卓話よろしくお願ひします。

大川 伸一/①先々週、メーキャップで瀬谷RCの例会に行つて来ました。想像以上に歓迎して頂き旭RCとの深い絆を実感しました。②増田先生、本日の卓話をよろしくお願ひし致します。

後藤 英則/増田さん、災害復興支援フォーラム、ご苦労様です。

安藤 公一／増田さん、災害復興支援フォーラム宜しくお願ひ致します。

田川 富男／①午前中、運転免許の更新に行ってきました。職業柄、安全運転にはより注意します。皆さんも運転には注意して下さい。

②誕生日お祝いを頂きまして、有り難うございます③増田さん、卓話宜しくお願ひします。

佐藤 利明／誕生日祝いを戴きまして有難うございます。後期高齢者になりましたが、光輝高齢者でありたいと思っております。

滝澤 亮／本日は増田会員の災害復興支援フォーラム、よろしくお願ひ致します。

兵藤 哲夫／上野のパンダが4年ぶりに交尾しました。間のあいた諸君、頑張ってみてはいかがでしょう。

市川 慎二／①誕生祝いを頂きありがとうございます。②増田さん、本日のフォーラム宜しくお願ひ致します。

■卓話 災害復興支援フォーラム

熊本復興支援プロジェクト

「放置自転車の寄贈」の検証

災害対策委員会

増田嘉一郎



1) 時系列 (平成 28 年)

4. 14 熊本地震発生

5. 18

第1回(次年度)委員会 計画書検討
(熊本復興支援活動を検討する)

6. 16

2720 地区第5グループ前年度ガバナー補佐
作守氏より五十嵐へ返信メール

7. 1

2016～17年度スタート

全地区ガバナーと全クラブ会長交代

7. 12

五十嵐・新川現地訪問

ニーズの調査、当方からの支援策の雑談

7. 13

第2回委員会 現地訪問結果報告、

2590地区の支援策を見守ることになる

8. 3

作守氏より、放置自転車寄贈は受入体制が
整わないとのことで一旦断念

第3回委員会

7/26の会長幹事会で地区としての具体的支
援プログラムはなしとの報告

りんどう通信発行報告

理事会 委員会終了後、作守氏より受入体
制整ったとの連絡があったため、急遽放置
自転車寄贈を提案し承認

[支出限度 30万円]

8. 4

横浜市への払下げ要望書作成・提出へ
横浜マニラ友好委員会と共同申請

8. 31

横浜市道路局自転車 100台払下げ承認

9. 29

同局より 50台引渡の連絡

10. 5

第6回委員会

予算案作成、自転車搬送役割分担

理事会 会員1人 3,000円の寄附を承認

10. 11

50台の引渡を受け、
自転車備品切除作業開始

10. 16

区民祭り 熊本地震復興支援募金

10. 17

羽沢駅より発送

10. 22

宇城市役所贈呈 (18台)

10. 24

宇土市役所贈呈 (32 台)

11. 11

残 52 台受領 自転車備品切除作業開始

11. 15

残 52 台発送

11. 20

宇土 (16 台)、宇城市役所 (36 台) 贈呈

12. 7

理事会決算承認

2) 会計報告

28.8.3 予算理事会承認

28.12.7 決算理事会承認

取 入				支 出			
科 目	予算	決算	備考	科 目	予算	決算	備考
岩沼 RC 協賛		40,426	※	JR 貨物	197,640	139,220	2回分
横浜瀬谷 RC 協賛		30,000	※	集配トラック	64,800	64,800	2回分
新横浜 RC 協賛		30,000		シール	10,800	9,000	
会員寄附	87,000	78,000	1人3千円	トラック提供 寸志		10,000	
区民祭募金	53,000	42,052		振込手数料		1,296	
災害対策委員会 予算	100,000	28,715		テープ等雑費		5,559	
				昼食代		19,318	24名分
				予備費	26,760		
合 計	240,000	249,193			300,000	249,193	

* 岩沼 RC と横浜瀬谷 RC の協賛金は、予算においては欄外に記載してあり (心積もり)、予算の収入合計は、24 万円となっている。理事会は、支出限度 30 万円で承認をする。

3) このプロジェクトをより良いものとするために

① 評価

被災地のニーズに合った奉仕活動であった。マスコミが取り上げたことにより、当クラブやロータリーの広報に繋がった。

他のクラブの協力のもと共同作業 (資金や作業の奉仕) の機会となり、友好を深めた。募金を区民祭り (熊本)、チャリコン (東北) と振り分けた。これにより放置自転車プログラムの資金が得られた。

ほとんどの会員から高評価を得た。

② 課題

(1) ニーズ調査費用の負担の問題

今回は、調査者の個人負担となっている (熊本往復航空券 1 人 6 万円)。

→ 今後は、ニーズ調査費用につき、岩沼へのクリスマスプレゼントの交通費ともに、1 人 1 万円をクラブの災害対策委員会の予算から支出する。

(2) 収入の問題

・ 3RC の協賛があつてなしえた。

今後も他クラブの支援を求める方向で進めるのか。今後の 3RC からの協賛依頼には応じる義務が生じたのでは。

→ 他のクラブからの奉仕の助成依頼は、当クラブ会員にとって、他のクラブの奉仕活動を知り、その参加の機会を得ることになり、有意義である。他のクラブ会員にとっても、当クラブからの助成依頼は、同様に有意義なものとなろう。他クラブからの奉仕への助成依頼に対して、当クラブ会員は、奉仕の機会として積極的に応じていくことが求められている。

・ 地区補助金の制度があるのか。R 財団の地区補助金か。当地区の受付は 4 月末頃だが、補助金が送金されるのは 9 月下旬。

→ R 財団の地区補助金の制度は、各地区が各々基準を設けており、当地区では、災害発生時に緊急事態の対処に使うことは難しい。

海外への放置自転車の寄贈は、運送費につき種々の助成の制度があるが、国内の場合は、そのような制度は現時点迄見当たらない。今後も情報収集をしていく。

(3) 支出の問題

区民祭りにおける被災地物品の販売は、社会奉仕委員会の予算からの支出か

(次項で取り上げる)。

(4) 自転車備品解体作業の問題

・ 災害対策委員会、さらに当クラブ会員へ奉仕を要請したが、集まらず。瀬谷 RC 会員や会員の所属企業の従業員に応援してもらっ

た。高年齢の人が多数を占める当クラブにとって肉体奉仕は厳しいか。

また、多くが平日の作業となったことに問題があるのか。

→他のクラブ会員にとっても奉仕の機会としての意味をもつのであり、他のクラブへの奉仕依頼を遠慮することはない。

また、土曜日、日曜日は、旭高校等高校生への奉仕依頼も考えられる。

・力のない人には、危険な作業ではないか。

→危険とまではいえないであろう。

負傷した場合は、健康保険で手当てしてもらおう。

(5) 委員会としての組織の問題

・当年度か、次年度か。

→時季に応じ、動ける方が動く。

・他の委員会の業務との業務際が不明確であった。

①区民祭りにおける社会奉仕委員会との役割分担。被災地物品販売、展示活動と募金活動は、どちらの業務か。

→統括は、社会奉仕委員会となる。

被災地物品販売、展示活動と募金活動は、災害対策委員会がその業務として行う。

募金は、災害復興支援に使う。物品販売の売上げと経費は、社会奉仕委員会に帰属する。

②チャリティコンサートにおけるチャリコン部会との役割分担。展示活動と募金活動は、どちらの業務か。

→統括はチャリコン部会となる。

展示活動と募金活動は、災害対策委員会がその業務として行う。

募金は、東日本大震災復興支援（岩沼のクリスマスプレゼント）に使う。

③災害対策委員会が独自にこれらの業務を進めていくとなると、委員会間の相互情報交換のために、社会奉仕委員会、災害対策委員会、チャリコン部会の各委員長が、他の2つの委員会の委員を兼務することが望ましいであろう。

3) まとめ

次に災害が起きたとき、放置自転車寄贈プロジェクトを実施するために、何を準備していくかの道筋が明確となった。

今後も議論を継続し、災害が発生したときに、当クラブの災害支援プロジェクトとして、そのノウハウを積み重ね、進化させ、さらに意義あるプロジェクトに育てていきたい。



第2590地区ロータリアンの美術活動親睦グループ
代表 眞田 敏彦 (横浜RC)
幹事 五十嵐 正 (横浜旭RC)

第55回ロータリアン展参加者募集

〈会場がギャラリーパリに変わります。〉

前略 恒例の行事として行われているロータリアン展を今年度も開催いたします。

このロータリアン展は今年で55回目となり、地区内ロータリアンの作品の発表の場、クラブの枠を越えた交流・親睦の場として運営しております。ロータリアンはもとよりご家族ご友人も参加できます。今回より会場をギャラリーパリに変更し、オープニングパーティー等充実した内容で開催いたします。

出品内容については、絵画、写真、書画、彫刻、焼き物等、日頃の趣味の発表の場としてご利用いただけます。皆様の奮ってのご出品をお待ち申し上げます。

会 期：平成29年4月21日(金)～26日(水)
〈オープニングパーティー 21日(金)午後5時～〉

展覧会場：ギャラリーパリ(旧横浜三井物産ビル1F)

出展者の範囲》ロータリアンとその家族ご友人

出展数》F20号基準で2～3点まで(その他の場合は要問合せ)

出品料》2万円、小品の場合1万円(要問合せ)

作品の種類》油彩・水彩・日本画・写真・彫刻・書・陶芸・彫金・染色・刺繍等々

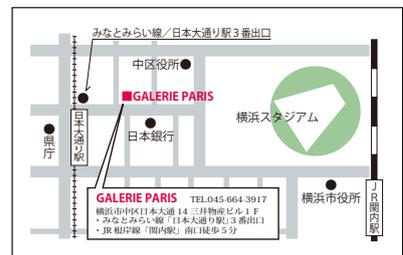
申込締切》平成29年3月20日(月)までにFAX又は郵送にてご返信ください。

FAX番号》045-353-0088

〒240-0032 横浜市保土ヶ谷区法泉1-6-6(南)五十嵐印刷 五十嵐正 宛

(申込用紙は裏面にございます。)

搬入日》4月20日(木)



■お問合せ
幹事 五十嵐まで
☎ 080-3271-0011

■次週の卓話

3/15 植原 建様(野鳥の会)

週報担当 太田 幸治